

2024年3月期の業績について

1. 概況

当期の国内経済は、新型コロナの感染法上の位置付けが5類感染症に移行し、経済社会活動の正常化が進んだことに加え、インバウンド需要も回復し経済活動の下支えとなりました。一方、ロシアによるウクライナ侵攻が長引くと共に、緊迫が続く中東情勢といった地政学的要因に加え、為替の円安や労務費の上昇もあり、物価高が継続し、設備投資の回復は力強さを欠きました。

このような環境下、当社に関わる建築・土木分野におきましては、建設コスト増や労働者不足に伴う工事の着工延期、工期長期化による影響等を受け、連結売上高は前期比4,232百万円減の55,399百万円となりました。

損益につきましては、鋼材価格、資材費等が高止まりする中、適正販売価格の浸透に努めると共に、全社一丸となって更なる生産性の向上とコスト削減に取り組み、連結経常利益は前期比589百万円増の4,503百万円、連結当期純利益は3,089百万円となりました。

また、グループ会社につきましても、全社黒字を確保しております。

2. 連結業績

(金額単位:百万円、表示未満切捨)

	2022年度	2023年度	前年同期比増減	増減率
連結売上高	59,632	55,399	△4,232	△7.1%
連結経常利益	3,913	4,503	589	15.1%
連結当期純利益	2,211	3,089	877	39.7%
(連結経常利益ROS)	(6.56%)	(8.13%)	(1.57%)	

[ご参考]

(金額単位:百万円、表示未満切捨)

	2022年度	2023年度	前年同期比増減	増減率
建築用建材商品	26,550	26,334	△215	△0.8%
土木用建材商品	20,851	18,359	△2,491	△11.9%
地下土木商品及びその他	12,230	10,705	△1,524	△12.5%
計	59,632	55,399	△4,232	△7.1%

3. 連結財政状況

(金額単位:百万円、表示未満切捨)

	2023年3月末	2024年3月末	前期末比増減	増減率
連結純資産額	39,131	40,314	1,183	3.0%
連結総資産額	59,020	59,207	186	0.3%
連結自己資本比率	66.3%	68.1%	1.8%	-
連結借入金残高	0	0	-	-

4. 2025年3月期 連結業績予想

連結売上高・連結経常利益共に、先行きの不透明感がある中、前年度並み確保を目標とする。

[参考] 連結業績推移

(金額単位:億円、表示未満切捨)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(予)
連結売上高	579.0	647.2	652.6	613.3	588.1	596.3	553.9	23年度並み
連結経常利益	41.0	44.7	49.7	49.6	38.5	39.1	45.0	23年度並み
連結当期純利益	23.0	23.5	44.1	33.1	24.3	22.1	30.8	

以上